

中国語学中国文学専攻分野

授業科目	講義題目	単位	担当教員氏名	開講学期	曜日	講時	平成30年度以前入学者 読替先授業科目
中国語学中国文学特論Ⅰ	中国古典小説・戯曲の受容と展開	2	土屋 育子	1学期	火	4	中国語学中国文学特論Ⅰ
中国語学中国文学特論Ⅱ	『韓詩外伝』を読む	2	矢田 尚子	2学期	火	4	中国語学中国文学特論Ⅱ
中国語学中国文学特論Ⅲ	詩経解釈学史入門	2	種村 和史	集中(2学期)		13	中国語学中国文学特論Ⅲ
中国語学中国文学史総合演習Ⅰ	中国語学史中国文学史上の諸問題	2	土屋 育子 矢田 尚子	1学期	月	4	中国語学中国文学研究 演習Ⅰ
中国語学中国文学史総合演習Ⅱ	中国語学史中国文学史上の諸問題	2	土屋 育子 矢田 尚子	2学期	月	4	中国語学中国文学研究 演習Ⅱ
中国語学中国文学研究演習Ⅰ	楚辞文学研究	2	矢田 尚子	1学期	金	2	中国語学中国文学研究 演習Ⅰ
中国語学中国文学研究演習Ⅱ	楚辞文学研究	2	矢田 尚子	2学期	金	2	中国語学中国文学研究 演習Ⅱ
中国語学中国文学研究演習Ⅲ	中国近世文学研究	2	土屋 育子	1学期	水	3	中国語学中国文学研究 演習Ⅲ
中国語学中国文学研究演習Ⅳ	中国近世文学研究	2	土屋 育子	2学期	水	3	中国語学中国文学研究 演習Ⅳ

科目名：中国語学中国文学特論 I / Chinese Language and Literature (Advanced Lecture) I

曜日・講時：前期 火曜日 4 講時

Semester：1 学期， 単位数：2

担当教員：土屋 育子（教授）

講義コード：LM12405， 科目ナンバリング：LGH-LIT601E, J， 使用言語：2 カ国語以上

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：中国語学中国文学特論 I】

1. 授業題目：中国古典小説・戯曲の受容と展開

2. Course Title (授業題目)： A study of Chinese classical novel and drama

3. 授業の目的と概要：

本授業では、中国古典小説・戯曲の起源を理解し、社会的・歴史的背景をもとにどのような変遷を遂げ、人々に受け入れられてきたのかを、著名な作品の読解を通じて学ぶ。

また、基本的な分析方法をわかりやすく解説し、分析によって作品の何が見えてくるのかを明らかにする。

本授業では、関漢卿の作品を中心に、関連する作品との比較を行う。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)

In this course, students will understand the origin of Chinese classic novel and drama and learn about changes Chinese classic novel and drama has undergone, based on social and historical background, learn how they have been received by people through reading masterpieces.

In addition, this course explains basic analysis method clearly and helps students understand what accepts of works they can understand with these theories.

In this course, the lecturer explains Guan Hanqing's drama and so on.

5. 学習の到達目標：

(1) 中国古典文学の小説・戯曲に関する基礎的知識を学ぶ。

(2) 各作品の読解を通して、変化の様相を理解し、自分の言葉でまとめられるようになる。

(3) 基礎的な中国古典文の読解力とそれを支える語彙力を身につける。

6. Learning Goals (学修の到達目標)

(1) Students learn basic knowledge related to Chinese classical novel and drama.

(2) This course is designed to help students to understand changes and describe them in their own words through reading each pieces in each period of history.

(3) Students will develop basic reading skills and build a strong vocabulary crucial to understanding Chinese classic texts.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

第1回 ガイダンス

第2回 関漢卿とその作品について

第3回 関漢卿の雑劇 読解と解説 (1)

第4回 関漢卿の雑劇 読解と解説 (2)

第5回 関漢卿の雑劇 読解と解説 (3)

第6回 関漢卿の雑劇 読解と解説 (4)

第7回 関漢卿の雑劇 読解と解説 (5)

第8回 関漢卿の雑劇 読解と解説 (6)

第9日 関漢卿と同時代の雑劇作家とその作品について

第10回 白朴の雑劇 読解と解説 (1)

第11回 白朴の雑劇 読解と解説 (2)

第12回 鄭光祖の雑劇 読解と解説 (1)

第13回 鄭光祖の雑劇 読解と解説 (1)

第14回 呉昌齡の雑劇 読解と解説

第15回 全体のまとめ

8. 成績評価方法：

授業への取り組み (50%)

レポート (発表用の資料作成等) (50%)

9. 教科書および参考書：

プリントを配布。

参考書は授業中に紹介する。

10. 授業時間外学習：

配布資料には事前に目を通しておくこと。

作品読解では、出席者が読解する回を設けます。

11. 実務・実践的授業/Practical business：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

12. その他：

科目名：中国語学中国文学特論Ⅱ／ Chinese Language and Literature (Advanced Lecture) II

曜日・講時：後期 火曜日 4 講時

セメスター：2 学期， 単位数：2

担当教員：矢田 尚子（准教授）

講義コード：LM22404， 科目ナンバリング：LGH-LIT602E, J， 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：中国語学中国文学特論Ⅱ】

1. 授業題目：

『韓詩外伝』を読む

2. Course Title (授業題目)：

Literary Study of Han shi wai zhuan

3. 授業の目的と概要：

【目的】中国文言文の基礎的・伝統的な読解方法、テキストの校勘方法など、中国古典文学を研究していく上で必要なスキルを習得することを目的とします。

【概要】漢代に編纂された故事説話集の一つである『韓詩外伝』を解説します。授業は、受講者の発表と質疑応答を中心に進めていきます。担当者は、テキストおよび関係資料を精査してレジュメを作成し、それをもとに口頭で発表をおこないます。担当者以外の受講者は、レジュメや口頭発表の内容について質問・意見を出し、双方の議論を通して、テキストに対する理解を深めていきます。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)

【Course Objectives】 This course aims to improve the students' ability to read texts of Chinese classical writings in a basic and traditional way, and to collate texts, which are necessary to study classical Chinese literature.

【Course Synopsis】 In this course, we interpret Han shi wai zhuan, a book collecting some 300 anecdotes and stories chosen to highlight the poems of the Shi Jing (Book of Poetry). The course is centered on students' presentations and question and answer sessions. In every class, the presenters are required to prepare handout for the assigned part of the text, and other students are required to ask questions on and to comment on the presentation. Through discussions, students reach deeper understanding of the text.

5. 学習の到達目標：

- ①中国文言文を読む際に必要な基礎的事項を理解し、実際に運用することができる。
- ②分かりやすいレジュメを作成し、内容が的確に伝わるように口頭で説明することができる。
- ③レジュメや発表の内容を理解して疑問点や問題点を明確にし、積極的に質問や意見を出すことができる。

6. Learning Goals(学修の到達目標)

- ①Students will be able to understand the basic issues necessary to read Chinese classical texts.
- ②Students will be able to make intelligible handout for their presentations, and to explain the contents precisely.
- ③Students will be able to clarify problems of handout and presentation, and to ask questions on and to comment on handout and presentation actively.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. ガイダンス
2. 『韓詩外伝』について (1)
3. 『韓詩外伝』について (2)
4. 『韓詩外伝』の読解 (1)
5. 『韓詩外伝』の読解 (2)
6. 『韓詩外伝』の読解 (3)
7. 『韓詩外伝』の読解 (4)
8. 『韓詩外伝』の読解 (5)
9. 『韓詩外伝』の読解 (6)
10. 『韓詩外伝』の読解 (7)
11. 『韓詩外伝』の読解 (8)
12. 『韓詩外伝』の読解 (9)
13. 『韓詩外伝』の読解 (10)
14. 『韓詩外伝』の読解 (11)
15. まとめ

8. 成績評価方法：

授業参加態度（質疑応答）50%、発表内容（レジュメおよび口頭での説明）50%

9. 教科書および参考書：

教材は授業開始時にプリントして配布する。

Materials will be handed out at the beginning of the course.

10. 授業時間外学習：

予習：担当者は、テキストの担当箇所および関連書籍を精査してレジュメを作成するとともに、質疑応答に備えること。担当者以外の受講者は、テキストとレジュメを熟読し、関連書籍にも目を通して、問題点を発見すること。

Preparation:Presenters are required to read the assigned part of the text and materials closely and to prepare handout. Other students are required to read the text, the handout and materials carefully and to find out problems.

復習：担当者は、授業中の議論を通して明確になった点を反映させてレジュメに修正を加えること。担当者以外の受講者は、授業中の議論によって得られた知見を自身の担当時に応用できるように理解を深めておくこと。

Review:Presenters are required to make corrections to the handout by reflecting issues clarified through the discussion in the class. Other students are required to deepen the knowledge obtained through the discussion in the class, and to be able to apply them to their own presentations.

1 1. 実務・実践的授業/Practicalbusiness :

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

1 2. その他 :

科目名：中国語学中国文学特論Ⅲ／ Chinese Language and Literature (Advanced Lecture) III

曜日・講時：通年集中 その他 連講

セメスター：集中（2学期）、単位数：2

担当教員：種村 和史（2学期）

講義コード：LM98819、科目ナンバリング：LGH-LIT603J、使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：中国語学中国文学特論Ⅲ】

1. 授業題目：

詩経解釈学史入門

2. Course Title (授業題目)：

Introduction to the history of Shijing (the Book of Songs) hermeneutics

3. 授業の目的と概要：

中国古典の研究成果は、伝統的に注釈という形で表現されることが多くなされてきた。とりわけ儒教の經典の一つである『詩経』は、大量かつ多様性に富んだ注釈書が蓄積されており、古典中国の学術のあり方の恰好の例となっている。注釈書を読み比べることにより、歴代の学者の文学・道徳・政治などに対する認識を知ることができると同時に、その変遷を見ることによって中国学術思想の流れを理解することもできる。また、注釈書に展開された詩経の詩篇の解釈の方法と理論は、現代の我々が文献を読解する上でも、有用である。

本授業では、代表的な注釈書を比較しながら読解する訓練を行い、詩経解釈学史の特徴・問題意識を理解し、古典の読み方と問題の抽出のしかたを身につけることを目指す。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)

Traditionally, academic findings on Chinese classics have taken the form of annotations and commentary on the source works. Shijing (the Book of Songs), one of the classical Confucian texts, has accumulated a particularly vast and diverse body of commentary; it therefore serves as a highly illustrative example of classical Chinese scholarship. Comparative readings of the academic commentaries reveal how literary, moral and political views and values have changed across successive generations of scholars. Such comparative analysis therefore becomes the key to understanding the development of Chinese academic thought. Furthermore, hermeneutic techniques and theory applied in Shijing commentaries and annotations can be implemented elsewhere, making them valuable for a contemporary reader.

This course involves comparative reading and analysis of the representative samples of Shijing commentary; the main goal is to help students understand the primary objectives of Shijing interpretations and the specifics of the Shijing hermeneutics history. In the process, students are supposed to acquire problem identification skills and interpretative strategies necessary for reading classical Chinese texts.

5. 学習の到達目標：

詩経解釈学史の大きな流れを踏まえた上で、主な詩経注釈書の読解法を習得する。

詩経注釈に見られる解釈の方法論、問題意識を理解する。

授業を通して学んだ解釈の方法論、問題意識の、自身の研究への応用可能性を考えることができる。

6. Learning Goals (学修の到達目標)

Students will learn how to interpret the key commentaries in the light of the larger history of Shijing hermeneutics.

Students will develop an understanding of the primary issues and hermeneutic methodology that characterize the body of Shijing commentary and annotations.

Students will be able to utilize in their own research the methodology of literary interpretation and problem identification skills acquired through this course.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

詩経注釈に表れる三つの問題（詩篇の構成についての理解・登場人物の性格についての理解・道徳的問題についての理解）を廻って、講義と実習（教材の読解）との組み合わせによって行われる。

第1・2回は、詩経および詩経解釈学史についての基本知識を学ぶ。

第3・4回は、漢唐詩経学の注釈書であり、詩経解釈に纏わる問題の源泉と言うべき『毛詩正義』の読解の訓練を行う。

第5回は、『毛詩正義』読解から得られた詩経解釈上の第一の問題の意義について講義によって学ぶ。

第6・7回は、この問題が宋代の詩経学者によってどのような展開を遂げたか、欧陽修『詩本義』・朱熹『詩集傳』・嚴粲『詩緝』などを教材にして読解する。

第8・9回は、第二の問題に取り組むべく『毛詩正義』の読解に取り組む。

第10・11回は、抽出された問題について、その後の宋代詩経学およびそれ以後の時代の詩経学における展開を確認するために、注釈書の読解を行う。

第12回は、この問題の詩経学および関連分野における意義を学ぶ。

第13回・第14回は、歴代の詩経注釈を比較しながら、第三の問題に取り組む。

第15回は、本授業のまとめと履修者自身の研究テーマへの応用可能性について話し合い、詩経解釈学史研究の現代的意義を考える。

ただし上記の授業計画は、学習者の理解度・関心のありどころによって適宜変更する可能性がある。

8. 成績評価方法：

詩経注釈の読解方法の習熟度、詩経解釈の方法論・問題意識に対する理解度、およびそれらの自身の研究との関係性あるいは応用可能性に対する主体的思索を、授業時のプレゼンス（80%）と課題（20%）によって測る。

9. 教科書および参考書：

授業で用いる教材は、教員が用意して配布する。

参考書：

目加田誠『詩経研究』上篇第三章（目加田誠著作集第一巻、龍溪書舎、1985）

戴維『詩経研究史』（湖南教育出版社、2001）

種村和史『詩経解釈学の継承と変容——北宋詩経学を中心に据えて——』（研文出版、2017）

Reading materials will be distributed in class.

Reference books:

Mekada Makoto, Shijing Kenkyū, vol.1, ch.3 (The Collected Writings of Mekada Makoto, vol.1, Ryuukeishosha, 1985)

Dai Wei, Shijing Yanjiu Shi (Hunan Education Publishing House, 2001)

Tanemura Kazufumi, Shijing kaishakugaku no keishō to hen' yō: Hokusō shijing-gaku wo chūshin ni suete (Kenbun Shuppan, 2017)

10. 授業時間外学習：

授業で扱う教材の予習。

授業時に与えられた課題を準備する。

Students should read all texts before class and be prepared to discuss related issues and debatable points (discussion topics will be assigned in advance).

11. 実務・実践的授業/Practical business：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

12. その他：

科目名：中国語学中国文学史総合演習 I / Chinese Language and Literature(Integration Seminar)I

曜日・講時：前期 月曜日 4 講時

セメスター：1 学期， 単位数：2

担当教員：土屋 育子、矢田 尚子（教授、准教授）

講義コード：LM11403， 科目ナンバリング：LGH-LIT604J， 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：中国語学中国文学研究演習 I 】

1. 授業題目：

中国語学史中国文学史上の諸問題

2. Course Title (授業題目)：

Studies of Chinese Language and Literature

3. 授業の目的と概要：

【目的】

1. 中国語学の各分野について、理解を深める。
2. 中国文学の各分野について、理解を深める。
3. 研究発表の方法と論文作成の方法を、学ぶ。
4. 教員からの指摘を的確に理解し、解決方法を探索する。
5. 他人の研究発表を的確に理解した上で、自らの質問を過不足なく言語化する方法を、学ぶ。

【概要】

受講生は輪番で、自らのもっとも関心のある課題について、その先行研究の整理・問題点の析出・解決のための調査（文献の読解と分析を含む）の過程と結果を、文章化して発表する。発表レジュメは前週金曜正午まで。発表レジュメを受け取った受講生は、三日間でレジュメを吟味・検討する。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)

“Gather the techniques that serve your dreams, create techniques to serve your dreams !” by Chick Corea.

In this course, students will acquire specialized knowledge and theories through preparing for their presentations and paying attention to the others' presentations.

5. 学習の到達目標：

上記の【目的】の1～5。および 6. 自ら納得のいく、適正な論文の作成。

6. Learning Goals(学修の到達目標)

1. Acquire specialized knowledge and theories
2. Bring each thesis to perfection

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (1)
2. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (2)
3. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (3)
4. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (4)
5. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (5)
6. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (6)
7. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (7)
8. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (8)
9. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (9)
10. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (10)
11. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (11)
12. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (12)
13. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (13)
14. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (14)
15. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (15)

8. 成績評価方法：

出席と質疑応答 (50%)。

レジュメによるプレゼンテーションと、レジュメ改訂の試みの発表 (50%)。

9. 教科書および参考書：

受講生各自の準備するプリント。

10. 授業時間外学習：

発表者は、プレゼンテーションの準備。三日後の改訂稿の準備も含む。

発表者以外の受講生は、三日前に提出されるレジュメの吟味と検討。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:“○”Indicates the practical business

12. その他：

科目名：中国語学中国文学史総合演習Ⅱ／ Chinese Language and Literature(Integration Seminar)II

曜日・講時：後期 月曜日 4 講時

semester：2 学期， 単位数：2

担当教員：土屋 育子、矢田 尚子（教授、准教授）

講義コード：LM21403， 科目ナンバリング：LGH-LIT605J， 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：中国語学中国文学研究演習Ⅱ】

1. 授業題目：

中国語学史中国文学史上の諸問題

2. Course Title (授業題目)：

Studies of Chinese Language and Literature

3. 授業の目的と概要：

【目的】

1. 中国語学の各分野について、理解を深める。
2. 中国文学の各分野について、理解を深める。
3. 研究発表の方法と論文作成の方法を、学ぶ。
4. 教員からの指摘を的確に理解し、解決方法を探索する。
5. 他人の研究発表を的確に理解した上で、自らの質問を過不足なく言語化する方法を、学ぶ。

【概要】

受講生は輪番で、自らのもっとも関心のある課題について、その先行研究の整理・問題点の析出・解決のための調査（文献の読解と分析を含む）の過程と結果を、文章化して発表する。発表レジュメは前週金曜正午まで。発表レジュメを受け取った受講生は、三日間でレジュメを吟味・検討する。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)

“Gather the techniques that serve your dreams, create techniques to serve your dreams !” by Chick Corea.

In this course, students will acquire specialized knowledge and theories through preparing for their presentations and paying attention to the others' presentations.

5. 学習の到達目標：

上記の【目的】の1～5。および 6. 自ら納得のいく、適正な論文の作成。

6. Learning Goals(学修の到達目標)

1. Acquire specialized knowledge and theories
2. Bring each thesis to perfection

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (1)
2. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (2)
3. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (3)
4. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (4)
5. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (5)
6. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (6)
7. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (7)
8. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (8)
9. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (9)
10. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (10)
11. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (11)
12. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (12)
13. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (13)
14. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (14)
15. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (15)

8. 成績評価方法：

出席と質疑応答 (50%)。

レジュメによるプレゼンテーションと、レジュメ改訂の試みの発表 (50%)。

9. 教科書および参考書：

受講生各自の準備するプリント。

10. 授業時間外学習：

発表者は、プレゼンテーションの準備。三日後の改訂稿の準備も含む。

発表者以外の受講生は、三日前に提出されるレジュメの吟味と検討。

11. 実務・実践的授業/Practical business：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:“○”Indicates the practical business

12. その他：

科目名：中国語学中国文学研究演習 I / Chinese Language and Literature(Advanced Seminar) I

曜日・講時：前期 金曜日 2 講時

semester：1 学期， 単位数：2

担当教員：矢田 尚子（准教授）

講義コード：LM15202， 科目ナンバリング：LGH-LIT606E, J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：中国語学中国文学研究演習 I 】

1. 授業題目：

楚辞文学研究

2. Course Title (授業題目)：

Literary Study of Chu Ci

3. 授業の目的と概要：

【目的】古典詩文の基礎的・伝統的な読解方法、テキストの校勘方法など、中国古典文学を研究していく上で必要なスキルを習得することを目的とします。

【概要】中国詩歌文学の源流の一つである韻文学作品集『楚辞』の代表的な作品である「離騷」を読解します。授業は、受講者の発表と質疑応答を中心に進めていきます。担当者は、テキストおよび関係資料を精査してレジュメを作成し、それをもとに口頭で発表をおこないます。担当者以外の受講者は、レジュメや口頭発表の内容について質問・意見を出し、双方の議論を通して、テキストに対する理解を深めていきます。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)

【Course Objectives】 This course aims to improve the students' ability to read texts of Chinese classical writings in a basic and traditional way, and to collate texts, which are necessary to study classical Chinese literature.

【Course Synopsis】 Chu Ci is an anthology of Chinese poetry, which is one of the origins of Chinese verse literature. In this course, we interpret Li sao, a representative piece of Chu Ci. The course is centered on students' presentations and question and answer sessions. In every class, presenters are required to prepare handout for the assigned part of the text, and other students are required to ask questions on and to comment on the presentation. Through discussions, students will reach deeper understanding of the text.

5. 学習の到達目標：

- ①中国古典詩文を読む際に必要な基礎的な事柄を理解する。
- ②わかりやすいレジュメを作成し、内容が的確に伝わるように口頭で説明することができる。
- ③レジュメや発表の内容を理解して問題点を明確にし、積極的に質問や意見を出すことができる。

6. Learning Goals(学修の到達目標)

- ①Students will be able to understand the basic issues necessary to read Chinese classical texts.
- ②Students will be able to make intelligible handout for their presentations, and to explain the contents precisely.
- ③Students will be able to clarify problems of handout and presentation, and to ask questions on and to comment on handout and presentation actively.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. ガイダンス
2. 『楚辞』について(1)
3. 『楚辞』について(2)
4. 『楚辞』「離騷」の読解(1)
5. 『楚辞』「離騷」の読解(2)
6. 『楚辞』「離騷」の読解(3)
7. 『楚辞』「離騷」の読解(4)
8. 『楚辞』「離騷」の読解(5)
9. 『楚辞』「離騷」の読解(6)
10. 『楚辞』「離騷」の読解(7)
11. 『楚辞』「離騷」の読解(8)
12. 『楚辞』「離騷」の読解(9)
13. 『楚辞』「離騷」の読解(10)
14. 『楚辞』「離騷」の読解(11)
15. 『楚辞』「離騷」の読解(12)

8. 成績評価方法：

授業参加態度 50%、発表内容 50%

9. 教科書および参考書：

教材は授業開始時にプリントして配布する。

Materials will be handed out at the beginning of the course.

10. 授業時間外学習：

予習：担当者は、テキストの担当箇所および関連書籍を精査してレジュメを作成するとともに、質疑応答に備えること。担当者以外の受講者は、テキストとレジュメを熟読し、関連書籍にも目を通して、問題点を発見すること。

Preparation:Presenters are required to read the assigned part of the text and materials closely and to prepare handout. Other students are required to read the text, the handout and materials carefully and to find out problems.

復習：担当者は、授業中の議論を通して明確になった点を反映させてレジュメに修正を加えること。担当者以外の受講者は、授業中の議論によって得られた知見を自身の担当時に応用できるように理解を深めておくこと。

Review:Presenters are required to make corrections to the handout by reflecting issues clarified through the discussion in the class. Other students are required to deepen the knowledge obtained through the discussion in the class, and to be able to apply them to their own presentations.

1 1. 実務・実践的授業/Practicalbusiness :

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

1 2. その他 :

科目名：中国語学中国文学研究演習Ⅱ／ Chinese Language and Literature(Advanced Seminar)Ⅱ

曜日・講時：後期 金曜日 2講時

Semester：2学期， 単位数：2

担当教員：矢田 尚子（准教授）

講義コード：LM25202， 科目ナンバリング：LGH-LIT607E, J， 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：中国語学中国文学研究演習Ⅱ】

1. 授業題目：

楚辞文学研究

2. Course Title (授業題目)：

Literary Study of Chu Ci

3. 授業の目的と概要：

【目的】古典詩文の基礎的・伝統的な読解方法、テキストの校勘方法など、中国古典文学を研究していく上で必要なスキルを習得することを目的とします。

【概要】中国詩歌文学の源流の一つである韻文学作品集『楚辞』の代表的な作品である「離騷」を読解します。授業は、受講者の発表と質疑応答を中心に進めていきます。担当者は、テキストおよび関係資料を精査してレジュメを作成し、それをもとに口頭で発表をおこないます。担当者以外の受講者は、レジュメや口頭発表の内容について質問・意見を出し、双方の議論を通して、テキストに対する理解を深めていきます。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)

【Course Objectives】 This course aims to improve the students' ability to read texts of Chinese classical writings in a basic and traditional way, and to collate texts, which are necessary to study classical Chinese literature.

【Course Synopsis】 Chu Ci is an anthology of Chinese poetry, which is one of the origins of Chinese verse literature. In this course, we interpret Li sao, a representative piece of Chu Ci. The course is centered on students' presentations and question and answer sessions. In every class, presenters are required to prepare handout for the assigned part of the text, and other students are required to ask questions on and to comment on the presentation. Through discussions, students will reach deeper understanding of the text.

5. 学習の到達目標：

- ①中国古典詩文を読む際に必要な基礎的な事柄を理解する。
- ②わかりやすいレジュメを作成し、内容が的確に伝わるように口頭で説明することができる。
- ③レジュメや発表の内容を理解して問題点を明確にし、積極的に質問や意見を出すことができる。

6. Learning Goals(学修の到達目標)

- ①Students will be able to understand the basic issues necessary to read Chinese classical texts.
- ②Students will be able to make intelligible handout for their presentations, and to explain the contents precisely.
- ③Students will be able to clarify problems of handout and presentation, and to ask questions on and to comment on handout and presentation actively.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. ガイダンス
2. 『楚辞』について(1)
3. 『楚辞』について(2)
4. 『楚辞』「離騷」の読解(1)
5. 『楚辞』「離騷」の読解(2)
6. 『楚辞』「離騷」の読解(3)
7. 『楚辞』「離騷」の読解(4)
8. 『楚辞』「離騷」の読解(5)
9. 『楚辞』「離騷」の読解(6)
10. 『楚辞』「離騷」の読解(7)
11. 『楚辞』「離騷」の読解(8)
12. 『楚辞』「離騷」の読解(9)
13. 『楚辞』「離騷」の読解(10)
14. 『楚辞』「離騷」の読解(11)
15. 『楚辞』「離騷」の読解(12)

8. 成績評価方法：

授業参加態度 50%、発表内容 50%

9. 教科書および参考書：

教材は授業開始時にプリントして配布する。

Materials will be handed out at the beginning of the course.

10. 授業時間外学習：

予習：担当者は、テキストの担当箇所および関連書籍を精査してレジュメを作成するとともに、質疑応答に備えること。担当者以外の受講者は、テキストとレジュメを熟読し、関連書籍にも目を通して、問題点を発見すること。

Preparation:Presenters are required to read the assigned part of the text and materials closely and to prepare handout. Other students are required to read the text, the handout and materials carefully and to find out problems.

復習：担当者は、授業中の議論を通して明確になった点を反映させてレジュメに修正を加えること。担当者以外の受講者は、授業中の議論によって得られた知見を自身の担当時に応用できるように理解を深めておくこと。

Review:Presenters are required to make corrections to the handout by reflecting issues clarified through the discussion in the class. Other students are required to deepen the knowledge obtained through the discussion in the class, and to be able to apply them to their own presentations.

1 1. 実務・実践的授業/Practicalbusiness :

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

1 2. その他 :

科目名：中国語学中国文学研究演習Ⅲ／ Chinese Language and Literature(Advanced Seminar)Ⅲ

曜日・講時：前期 水曜日 3講時

semester：1学期， 単位数：2

担当教員：土屋 育子（教授）

講義コード：LM13305， 科目ナンバリング：LGH-LIT608E, J， 使用言語：2カ国語以上

【平成30年度以前入学者読替先科目名：中国語学中国文学研究演習Ⅲ】

1. 授業題目：中国近世文学研究

2. Course Title (授業題目)： Chinese Popular Literature

3. 授業の目的と概要：

【授業の目的】

中国の伝統的な注釈方法に基づいて、通俗文学作品を読解できるようになる。中国近世の通俗文学作品を読むことを通して、基礎的な知識を身につけ、読解力を向上させる。原典や工具書の扱い方に習熟する。

【授業の概要】

中国近世の白話文学作品の読解を通して、中国の通俗文学に関する基礎的な知識を学ぶとともに、原文の読解力と分析し鑑賞する力の習得を目指す。授業は、発表と質疑応答によって進める。今学期は、『西遊記』とこれに関連する作品を取り上げる。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)

This course is designed to help students understand the fundamental knowledge about Chinese popular literature, gain reading ability, analysis ability, through reading Chinese popular literature. This course is centered on a presentation and a questions and answers session. In this semester class, students read “Journey to the West”.

5. 学習の到達目標：

- (1) 中国古典文（文言と白話）の読解力を向上させる。
- (2) 白話文学作品について、分析し鑑賞する力を習得する。
- (3) 辞書やデータベース等の活用と、原典（影印本・標点本等）に習熟する。
- (4) 歴史的背景を踏まえ、白話文学作品がどのように変化したかを理解する。

6. Learning Goals(学修の到達目標)

1. Students improve Chinese popular literature reading skill.
2. Students gain the perspective needed to review
3. Students gain the skills of using dictionaries, databases and original books and so on.
4. Students understand changes Chinese popular literature has undergone, based on historical background.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

内容及び進度予定は以下のとおりである。

1. イントロダクション
2. 作品について
3. 発表と質疑応答（1）
4. 発表と質疑応答（2）
5. 発表と質疑応答（3）
6. 発表と質疑応答（4）
7. 発表と質疑応答（5）
8. 発表と質疑応答（6）
9. 発表と質疑応答（7）
10. 発表と質疑応答（8）
11. 発表と質疑応答（9）
12. 発表と質疑応答（10）
13. 発表と質疑応答（11）
14. 発表と質疑応答（12）
15. 発表と質疑応答（13）

8. 成績評価方法：

授業への取り組み：50%

発表（資料作成を含む）：50%

9. 教科書および参考書：

テキストはプリントを配布する。

参考文献は授業中に指示。

10. 授業時間外学習：

辞書を用いて、予習・復習をしてください。原文の一字一字についてそれがどのような意味か、その箇所が前後の文脈からどのような状況を言っているのか、などに気を配りながら、丁寧な学習をこころがけてください。

11. 実務・実践的授業/Practical business：○

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:“○”Indicates the practical business

12. その他：

科目名：中国語学中国文学研究演習Ⅳ／ Chinese Language and Literature(Advanced Seminar)Ⅳ

曜日・講時：後期 水曜日 3講時

semester：2学期， 単位数：2

担当教員：土屋 育子（教授）

講義コード：LM23305， 科目ナンバリング：LGH-LIT609E, J， 使用言語：2カ国語以上

【平成30年度以前入学者読替先科目名：中国語学中国文学研究演習Ⅳ】

1. 授業題目：中国近世文学研究

2. Course Title (授業題目)： Chinese Popular Literature

3. 授業の目的と概要：

【授業の目標】

中国の伝統的な注釈方法に基づいて、通俗文学作品を読解できるようになる。中国近世の通俗文学作品を読むことを通して、読解力を向上させ、分析・鑑賞力を習得する。また、作品成立の時代的・社会的背景も理解する。原典や工具書の扱い方に習熟する。

【授業の概要】

中国近世の白話文学作品の読解を通して、中国の通俗文学に関する応用的な知識を学ぶとともに、原文の読解力と分析し鑑賞する力のさらなる向上を目指す。授業は、受講者による発表と質疑応答によって進める。今学期は、『水滸伝』とこれに関連する作品を取り上げる。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)

This course is designed to help students understand the fundamental knowledges about Chinese popular literature, gain reading ability, analysis ability, through reading Chinese popular literature. This course is centered on a presentation and a questions and answers session. In this semester class, students read “Water Margin”.

5. 学習の到達目標：

- (1) 中国古典文（文言と白話）の読解力を向上させる。
- (2) 白話文学作品について、分析し鑑賞する力を習得する。
- (3) 辞書やデータベース等の活用と、原典（影印本・標点本等）に習熟する。
- (4) 歴史的背景を踏まえ、白話文学作品がどのように変化したかを理解する。

6. Learning Goals(学修の到達目標)

1. Students improve Chinese popular literature reading skill.
2. Students gain the perspective needed to review
3. Students gain the skills of using dictionaries, databases and original books and so on.
4. Students understand changes Chinese popular literature has undergone, based on historical background.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

内容及び進度予定は以下のとおりである。

1. インTRODakション
2. 作品について
3. 発表と質疑応答（1）
4. 発表と質疑応答（2）
5. 発表と質疑応答（3）
6. 発表と質疑応答（4）
7. 発表と質疑応答（5）
8. 発表と質疑応答（6）
9. 発表と質疑応答（7）
10. 発表と質疑応答（8）
11. 発表と質疑応答（9）
12. 発表と質疑応答（10）
13. 発表と質疑応答（11）
14. 発表と質疑応答（12）
15. 発表と質疑応答（13）

8. 成績評価方法：

授業への取り組み：50%

発表（資料作成を含む）：50%

9. 教科書および参考書：

テキストはプリントを配布。参考文献は授業中に指示。

10. 授業時間外学習：

辞書を用いて予習・復習することを原則とします。原文の一字一字についてそれがどのような意味か、その箇所が前後の文脈からどのような状況を言っているのか、などに気を配りながら、丁寧な学習をこころがけてください。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness：○

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:“○”Indicates the practical business

12. その他：

